

ラップランドトリップとしてタリンから三時間ほどかけてフェリーでヘルシンキに向かいました。約2日間かけてVasatokkaという宿に到着し、スキーとスノーシューイングの研修をしました。クロスカントリーだったので自力で進まなければならず大変でしたが、往復8キロを滑り終えたときは達成感を覚えました。スノーシューイングは思ったよりも重くて大変でしたが初めての経験で面白かったです。アイスフィッシングや雪の中での火起こし、極寒の中での拠点づくりなども体験しました。フィンランドでは男性の火起こしのスキルがグループの生存率を大きく左右したそうです。

オーロラも見ることができました！弱いものだったので肉眼ではぼんやり白く見える程度でしたが、高性能のスマホでならきれいな写真が取れ、見せてもらった写真はとても綺麗でした！

ノルウェーの北極海のほとりでサウナをし、十分に温まったあとは北極海に思い切ってダイブしました。もちろんとても冷たかったのですが、思いの外すっきりして気持ちよかったです。サウナはとても高温で、空気だけでやけどするかと思いました。

美術館では、フィンランドの発達の歴史や伝統衣装や石器のようなものを見ました。また、サンタクロスビレッジでは、サンタさんと写真撮影をしました。日本から来たことを伝えると「こんにちは！」と日本語で言ってくれました。

Soomaaでネイチャートリップを楽しみました。湿地帯では水は空を反射し、多様な種類の植物を見ることができました。同じ種類の木でも、成木が多く生えているところもあれば、低木しかない場所もあり、とても美しい光景でした。カヌーを8キロも漕いで、ゆっくりと自然の景色を楽しむことができました。

Viljandiの町を散策し、観光名所であるオークの木とブランコも訪れました。町並みは少し古くカラフルで、中でもヴィリヤンディ騎士団城跡はとてもきれいでした。

二つの大きな戦争はエストニアやヨーロッパの国々に影響を与えています。戦地と近いと緊張も高いですが、現在のところ平和に暮らしています。エストニアの冬には、床暖房が必須で電力をととても消費するのですが、戦争の影響でとても電気代が高騰しており、ホストの生活費のやりくりが大変そうです。

タリンのロシア大使館の周りはプロパガンダポスターであふれており、エストニア自由広場の建物には大きくエストニアとウクライナの国旗が描かれています。エストニアは国土を接しているためロシア人やロシア人にルーツを持つ人も多いです。日本ではロシアにマイナスのイメージを持っている人も多いですが、私に関わった彼らはとても優しく、エストニア人よりも私と積極的にコミュニケーションを取ろうとしてくれます。

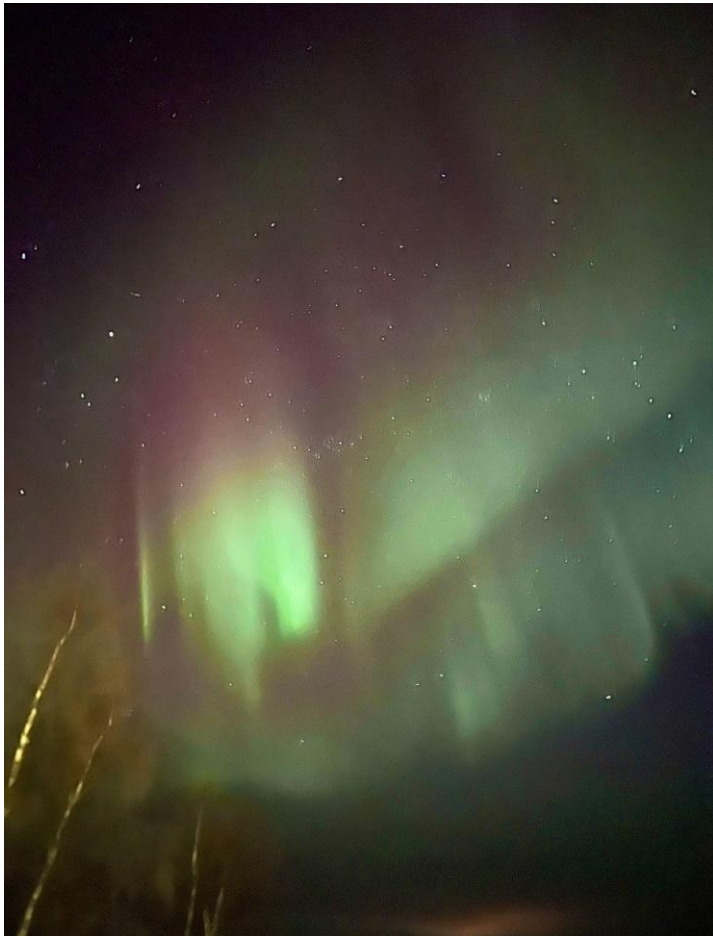
ある朝、EE-alarmが鳴りました。エストニア上空を許可のない飛行物体が通過したそうです。シスターが大きな音を聞いて外を見るとエストニアの軍事用航空機が空を飛んでおり、彼女は戦争が始まってしまうかもしれないと感じたそうです。これからも平和に暮らせることを願うばかりです。



↓ 手作りのトナカイの角キーホルダー



↓ オーロラ



↓北極海



↓トナカイの角



↓ ヴァリヤンディの古城



